

PASSION
FOR THE
BEST

大和証券グループ 女性の健康課題に対する取組みについて

2024年3月26日

大和証券グループ本社 人事部

「Daiwa ELLE Plan」について(概要)

【課題・背景】

- 当社グループは、社員のウェルビーイング※向上により生産性を高め、組織として高いパフォーマンスを発揮し続けることを目的に、2008年度より本格的に健康経営を推進。

※ウェルビーイング (Well-being) : 身体的・精神的・社会的に良好な状態

- **女性は、ライフステージにおける女性ホルモンの分泌量の変化等により、月経随伴症状、月経前症候群 (PMS)、更年期症状等の健康課題**があり、企業として女性特有の健康課題に対処することが、さらなる女性の活躍、生産性向上が見込めると考えられた。
- **不妊治療と仕事の両立支援**を望む声が社内で増加 (次頁)
- 婦人科がん検診 (子宮頸がん・乳がん検診) の受診率が3割未満と低迷



(ご参考)「仕事と育児の両立支援に関するアンケート」(不妊治療)

2016年12月「仕事と育児の両立支援に関するアンケート」を実施

社内の全世代のアンケートにおいて回答数3,200名のうち740名が仕事と不妊治療の両立支援施策を希望

【意見（2016年のアンケート及び自己申告書から）】 ●女性 ◆男性

- <治療時間>
- 時間単位年休や半休を利用しながら治療・通院している
 - 休暇や短時間勤務ができれば良いと思う
 - 体の周期に合わせて治療がすすむため、真剣に治療をするなら仕事を辞めなくてはならないのかと悩む
 - 過去、有休がなくなり治療を断念した
- <仕事への影響・周囲への理解>
- デリケートな問題のため上司に相談しにくい人も多いと思う
 - 急に通院が必要になることで、業務の調整でとても苦勞をしている
 - 治療により休むことで周囲に迷惑をかけるので、より高度な治療へ踏み切れない
- <費用補助>
- ◆通院期間や治療内容によっては負担が大きくなるので、費用補助があると良い
- <異動配慮>
- ◆現在治療通院中のため、落ち着くまでは現勤務地を希望

「Daiwa ELLE Plan」について(概要)

健康経営推進会議の構成員である人事部門、産業保健スタッフ、健康保険組合で検討

➡「Daiwa ELLE Plan」の導入

【ポイント】

- **エル休暇**（月経・更年期の体調不良、不妊治療の際に取得）の新設
- **仕事と不妊治療の両立支援**等を拡充
- **女性特有の健康課題へのリテラシー向上**
- 医務室における**婦人科診療・相談**の開始（ダイワオンラインケア）

既存の制度と新しく導入した制度をパッケージにして社員にアナウンス

「Daiwa ELLE Plan」



PASSION
FOR THE
BEST

検診から妊娠・出産、休暇、健康リテラシーの向上、相談体制、仕事と治療の両立等の制度・施策を包括して「Daiwa ELLE Plan」とし、女性社員が健康にいきいきと働き続けられるよう支援します。

Daiwa ELLE Plan

	20代	30代	40代	50代	60代
検診	乳がん・子宮頸がん検診 35歳未満	◎人間ドック（がん検診） 35歳以上 ※ 50歳・55歳・60歳 節目年齢オプション			
妊娠・出産	・母性健康管理		◎育児休職		
休暇	◎エル休暇				
健康リテラシーの向上	◎女性の健康情報の発信 ◎医師・保健師による健康に関する研修の実施（新入社員研修等） ◎全管理職向け「就労女性向けの健康リテラシー講座」（eラーニング） ◎ KA・RA・DAいきいきプロジェクト「ココカラビューティー～働く女性の健康講座～」				
診療・相談体制	◎総合健康開発センター（医務室）の「婦人科診療・相談」 ◎first call (ダイワオンラインケア)				
仕事と治療の両立支援	◎仕事と不妊治療の両立支援 ・エル休暇 ・テレワーク ・ライフサポート有給休暇 ・特定不妊治療費補助（保険給付・高額療養費）・互助会による療養費貸付 ・管理職向け研修および女性向け健康リテラシー講座 ・相談窓口				
	◎仕事とがん治療の両立支援「ガンばるサポート」				



研修の様子

ライフステージごとに訪れる心と体の変化を知り、仕事への向き合い方や更年期、女性ホルモンの働き等を学べる内容

※性別を問わず利用できる制度・施策は◎

- ✓ 労働基準法で定められた生理休暇をそのままの名称「生理休暇」として社内で使用していたが、「生理休暇」は取得する際に上司（特に男性）に言い出しにくく、取得しにくいため、名称を「**エル休暇**」と変更
- ✓ さらに「**更年期による体調不良**」、「**不妊治療**」も取得事由に含める
- ✓ 生理休暇は月2日まで特別休暇としていた。取得要件拡大に伴い「**エル休暇**」は月に2日まで取得日数分を、別途年休として追加付与する（特別休暇は廃止）

【取得者数の状況（大和証券）】


■2017年度（導入前） 「生理休暇」取得者数：約40名



■2023年度 「エル休暇」取得者数：約860名（2024年2月末までの11ヶ月）

「婦人科診療」(医務室:2023年4月～)

・対面、電話、オンライン診療が開始となり、全国の社員が受診可能に




2023年5月10日

婦人科診療のオンライン予約(クリック)

婦人科オンライン診療の開始について

月経や更年期症状などの婦人科診療がオンライン(Teams)で行えるようになりました
次ページの利用方法をご確認の上、ぜひご活用ください

※ 定期薬(婦人科)のオンライン処方については治療経過をお伺いしながらの判断となります、まずはご相談ください



月経関連

- ✓PMS(月経前症候群)
- ✓月経困難症
- ✓月経不順
- ✓貧血

鎮痛剤や低用量ピルの内服方法に関する質問、対処方法についての相談
月経の量や期間、頻度で気になっていることや悩みなど

ご参考: チェックリスト①②月経関連

更年期障害

- ✓更年期症状

日常生活に影響度に関わらず更年期を感じている方、漢方やホルモン剤の処方についての疑問や質問など

ご参考: チェックリスト③

更年期 (40代半ばから50代半ば)
「卵巣機能(女性ホルモン)の低下」
更年期 (30代半ばから40代半ば)
「卵巣機能の低下が直接的ではなく、自律神経の乱れ」によるもの

2023年5月10日


婦人科診療のオンライン予約(クリック)

婦人科オンライン診療の利用方法について

ダイワオンラインケア(診療)の流れ

STEP1


婦人科診療の
予約・問診



▶

STEP2


Teams/対面/電話
診療・相談



▶

STEP3

薬は必要時
ご自宅へ郵送



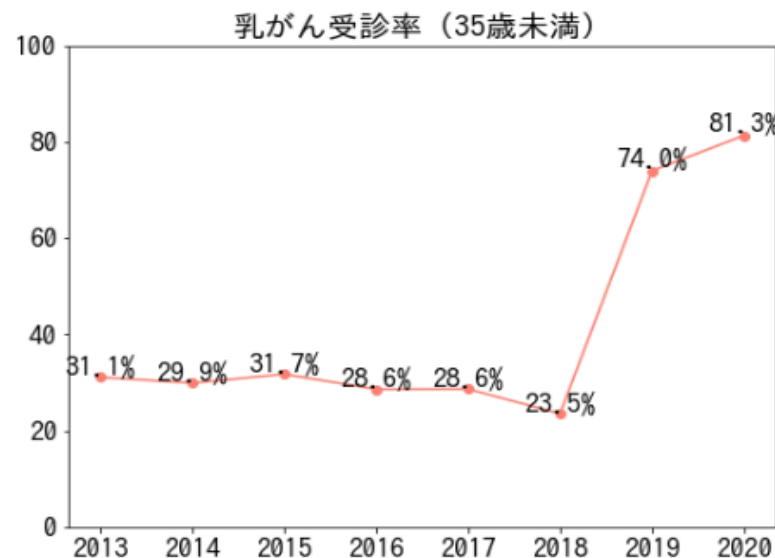
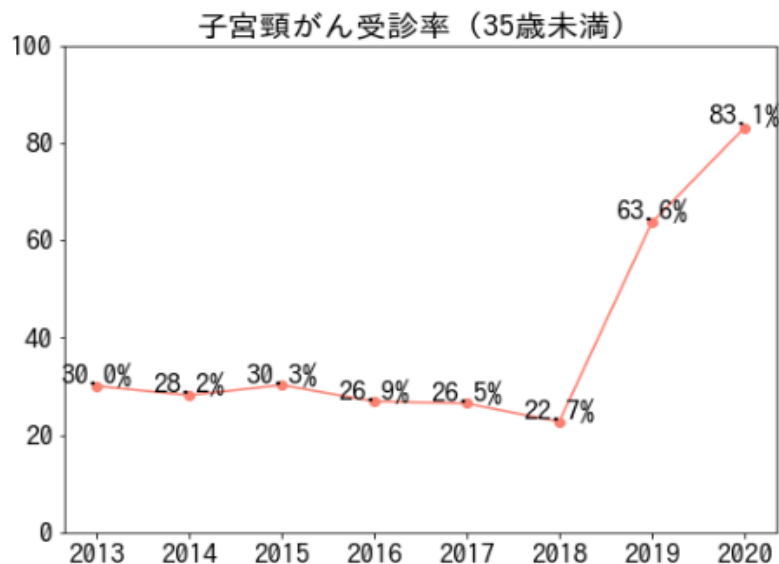
ダイワオンラインケア(診療)の
次ページ

- ・ピルについては継続内服の方を対象に、治療経過の確認とリスクの説明を行いながら慎重に処方
- ・その他、漢方・鎮痛剤の処方が可能
- ・生活習慣やサプリメントのアドバイスなども同時に行っている

「婦人科がん健診」

定期健康診断と人間ドックの統合

- 2019年より各種検診を統合し、**定期健康診断でがん検診まで一度に受診できるよう変更**。受診のための**「健診休暇」**を新設
- 従来、50・55歳時に受けられる「節目年齢オプション」を、60歳時も受けられるように拡大
- 要精密検査者や複数年未受診者には受診勧奨メールを送付
- 35歳未満の子宮頸がん・乳がん検診の受診率が大幅に上昇



工夫した点・今後の取組み

工夫した点、効果のあった点

【利用しやすい風土づくり】

- ◆ 「女性特有の健康課題」に関する総合的な対策により、仕事との両立を支援した。
- ◆ 産業医から、女性を特別扱いしているのではなく、医師の視点で必要な配慮を会社として取り組むのだとのメッセージを添えてもらった。
- ◆ 社長名でのプレスリリースを行った（会社として「女性特有の健康課題」へのサポートを行う意志を社員に示すとともに、報道された記事を社員が読むことで周知が進んだ）。
- ◆ 女性だけでなく全管理職へのeラーニングによる啓発を行い男性の上司への理解を深めた。
- ◆ Daiwa ELLE Planのロゴを作成し案内文書に必ずロゴを掲載することで周知が進んだ。
- ◆ 採用面接時に質問を受けるなど学生の関心も高く、優秀な人材の確保にプラスに働いた。

今後の取組み

- ◆ 「女性特有の健康課題」へのリテラシー向上をすすめ、制度利用をしやすい職場づくりをさらに進める。
- ◆ リモートワークが進むなか、オンラインでの各種取組みを進め、かかりつけ医の役割を担うなど「女性特有の健康課題」への対応を拡充する。

(ご参考)プレスリリース

平成30年10月1日

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社
代表者名 執行役社長 中田 誠司
(コード番号 8601 東証・名証 (第1部))

「Daiwa ELLE Plan」の導入について

大和証券グループでは(以下、当社)、全ての社員が持てる能力を発揮し、生き生きと活躍できる環境の整備を進めております。従来より、社員の健康支援に取り組んでまいりましたが、このたび「女性特有の健康課題」に関するサポートを充実させるため、「**Daiwa ELLE Plan**」を導入しました。

女性にはライフステージにより様々な健康課題があります。近年ライフスタイルの変化により、その影響は多様化しています。

国においても、男女が互いの性差に応じた健康について理解を深めつつ、健康を生涯にわたり包括的に支援する為の取り組みや性差に応じた健康支援の取り組みを推進しています。

そこで、女性の更年期への対策支援、エル休暇(月経・更年期の体調不良、不妊治療の際に取得)の新設、社員の健康リテラシーの向上、さらに仕事と不妊治療の両立支援等を拡充します。仕事と不妊治療の両立支援においては、治療時間の確保に加え、特定不妊治療の費用補助を新設します。

「**Daiwa ELLE Plan**」により、女性特有の健康課題や不妊治療への理解を進めることで、社会的責任を果たし、健康経営の実現、生産性の向上につながるものと考えております。

今後も社員の働きがい高め、能力を最大限発揮できる環境をさらに整備することにより、お客様へのなお一層のサービス水準の向上に努めてまいります。

(ご参考)指標

- ✓ 当社グループの管理職に占める女性比率は上昇
- ✓ 生産性が向上

		2020年度	2021年度	2022年度
管理職に占める女性比率	(グループ連結)	13.7%	15.1%	16.6%
	(大和証券単体)	16.3%	18.3%	19.7%

		2020年度	2021年度	2022年度
プレゼンティーズム損失割合平均値※1		17.0%	15.2%	12.6%
アブセンティーズム平均値※2		3.4日	3.4日	3.1日

※1 何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態。病気やケガがないときに発揮できる仕事の出来を100%として、過去4週間の自身の仕事を評価するアンケートを実施して算出。数値が小さいほど生産性が高い。

※2 病欠、病気休業の状態。過去1年間に自分の病気で何日仕事を休んだかを問うアンケートを実施して算出。日数が少ないほど生産性が高い。

(2022年度回答者数12,717名、回答率98%)